

1面からのつぎ

### 新宿支部

## 善行会杯小学生 サッカー大会 優勝決定戦

第十九回善行会杯優勝トーナメントが令和二年十二月十二日と十三日に新宿区内のグラウンドで開催されました。コロナ禍で都知事が緊迫する時期だと発信している最中に何とか三カ月間の試合をこなし決勝戦まで行えました。この日までの対策としては大勢が入口付近に集まらないように試合後の時間を開けたり、選手の両親の見学も一名に



したり、声を出さない応援や三密対策などと運営側の苦労がありました。最終日の式典も小さく試合後に一位から四位まで表彰状を新宿支部長から渡して集合写真を撮りました。優勝チームは嬉しさを出しカメラにジャンプしている姿があり、また両親にも喜ばれ華やかにになりました。新宿区サッカー連盟の青少年育成には敬意を致します。春になると『ジュニアユース新人戦・善行会杯』(中学生大会)が始まる予定です。応援よろしくお願いたします。



### 会員の声

#### 三重県御浜町

大家 正伸

いつもいろいろとお世話をいただきましてありがとうございます。

新型コロナウイルス禍、大変な毎日かと存じます。

御身も体も大切にしてください。

手作りのみかんを被災地や障がい者施設、不登校の子供たちの学校、NPO法人子供食堂等に、「夢」みかんとして送るようにしています。

### 新会員名簿(敬称略)

- (網走支部) 馬淵一、渡辺富男、安達昭雄、増子雪子(遠紋地区支部) 笠井和弘、川谷昭男、小玉勝信、千葉七雄、成田弘明、橋本政司(岩手県支部) 藤原重三(岩手県南支部) 須藤信子(岩手県宮古支部) 加村牧子、盛合和弘(宮城県支部) 小畑隆志、木村和裕、小山みよ子、櫻田栄松、佐藤
- 長兵衛、佐藤泰彦、管澤信一、森義道、横山弥生(宇都宮支部) 大関寛秦、篠崎和巳、高村壽子(群馬県北毛支部) 中村淳、澁川好伸、大澤千佳子、南部三賀子、青木真佐彦、真庭正二、藤巻朝男、五谷重顕、割田信一、平形郁雄、津久井義男、入内島一崇、諸田弘、星野公平、佐藤誠一、伊藤
- 一枝(千葉県支部) 落合貞夫、小坂昌彦、佐々木喜代枝、椎名康子、服部初恵(北区支部) 清水良子、山田加奈子(西東京支部) 渋谷のぶゆき(山梨県甲府支部) 河野敏久、五味秀男(福井県支部) 戸川隆(福井県奥越支部) 吉田武博、立壁眞弓(愛知県支部) 阿部眞有美、近藤ひとみ、古箭政枝、伊與田廣隆、成瀬眞佐子(京都府支部) 金澤公明、荒樋良雄、村岡
- 千鶴、赤瀬由貴、杉本繁(香川県支部) 星川叔子、金泥千代、増尾明善(福岡県福岡支部) 井上純子、武田隆(福岡県筑後支部) 池田和代(福岡県北九州支部) 縣善彦(長崎県佐世保支部) 濱口大郎(熊本県宇土支部) 伊佐晶子、栗原律子、中川慎一、中島春次、山崎安徳(沖縄県支部) 當山幸宏、渡慶次葉末子

### 岩手県支部

## 社会福祉へ 使用済み切手

平成十三年から事業活動の一環として、使用済み切手(目標十萬枚)収集を多方面や事業所・団体等訪問し協力を呼びかけて参りました。多くの



賛同者のもと平成二十一年から十年間の収集活動が結実し、目標十萬枚に辿り着く事が出来ました。ご協力下さいました皆様方の善意に、心から感謝をし「一〇一・二一七枚」を令和二年十月十二日、盛岡市社会福祉協議会に寄贈いたしました。



### 鹿児島県財部支部

## 鹿児島県財部支部の 活動状況を振り返って

鹿児島県財部支部は、平成二十年七月二十日全国で六十七番目の善行会支部として設立しました。財部は、鹿児島県と宮崎県の県境・霧島連山の麓に位置しています。

活動計画書・予算書等を作成し、少ない会員ながらも善行精神の普及と善行実践を推進する事としました。設立してまもなく、当地域は「鳥インフルエンザ」「咬跡疫」「落雷を伴う大雨」「三〇〇年ぶ

りの新燃岳の大噴火」と連続した災害に見舞われ、大変不安な想いをしておりますところ、善行会の多数の支部から、義援金や温かい励ましのお手紙をいただきました。

そして、平成二十三年三月十一日に発生した「東日本大震災」は、福島原子力発電所の爆発や大津波により未曾有の大災害となりました。そこでも、善行会精神や阪神大震災で培った「ボランティア精神」が発揮され、改めて人と人との絆・相互扶助の大切さを知り感動しました。

平成二十七年十月三十一日から十一月一日財部支部が主体となつて、都城支部と合同で第八回「九州支部協議会」



九州地区の出席支部長

部とのグラウンドゴルフ交流大会を実施、懇親会も、隠された会員のパフォーマンス披露で大いに盛り上がりました。平成三十年度秋善行表彰において、当支部の会員三名が善行表彰を受賞しました。

この名誉ある受賞を機に、会員である徳丸真子さんが「まるこ子ども食堂」を開設しました。若い会員の増もあり善行会財部支部も全面的にバックアップ・お手伝することにしました。昨年発症した新型コロナウイルスは、収束せず益々感染者拡大しており、三密を避ける生活を余儀なくされ、人と人の交流やボランティア活動等も制限されますが、善行精神を忘れず、財部支部会員は善行推進に頑張りたいと思います。

を鹿児島県霧島市の霧島ロイヤルホテルで開催しました。日本善行会本部副会長初め、多数の来賓を迎えての協議会は、九州各支部の活動状況の報告等お互いの勉強の場となり、また有意義な交流の場となりました。



財部支部  
森園 三男

### 入会のおさそい

一般社団法人日本善行会では、善行の表彰並びに善行精神の普及と実践を通じ明るく住みよい社会環境づくりに努めております。活動をご支援いただくために、広く会員をおさそい下さい。

#### 会員の種類

- ①普通会員(正会員)
  - 個人 年額 五千円
  - 法人 年額 一万円
- ②特別会員(正会員)
  - 個人 年額 一万円
  - 法人 年額 三万円
- ③賛助会員
  - 個人 年額 千円以上

※明るいニュース年間購読料五百円含む